

令和4年5月第7回松阪市教育委員会定例会会議録

令和4年5月27日（金）教育委員会室

議決事項

議案第11号 松阪市教育委員会における松阪市情報通信技術を活用した
行政の推進に関する条例施行規則の制定について

報告事項

報告第22号 令和4年度4月児童生徒の問題行動等について
報告第23号 松阪市いじめ問題対策連絡協議会委員等の委嘱について
報告第24号 松阪市教育支援委員会委員の委嘱について
報告第25号 松阪市スポーツ推進計画策定委員会委員の委嘱について
報告第26号 みえ松阪マラソン2022の開催について

出席者

教育長	中 田	雅 喜
委員（教育長職務代理者）	長 井	雅 彦
委員	谷 口	雅 美
委員	服 部	美由紀
委員	松 江	茂

出席事務局職員

事務局長	刀 根	和 宜
事務局次長	村 田	佳 之
教育総務担当参事兼教育総務課長	尼 子	宗 成
学校教育課長	金 谷	勝 弘
学校支援担当参事兼学校支援課長	大 辻	結 花
子ども支援研究センター所長	中 西	明 美
スポーツ課長	若 山	幸 則

午後1時30分 開会

○教育長

それでは、ただいまから令和4年5月第7回松阪市教育委員会定例会を開会いたします。

傍聴の申し出はございませんでしたので、ご報告申し上げます。

それでは、事項書に従いまして、進めてまいります。

報告第 22 号から第 24 号までにつきまして、事務局から説明願います。

22. 令和 4 年度 4 月児童生徒の問題行動等について

23. 松阪市いじめ問題対策連絡協議会委員等の委嘱について

24. 松阪市教育支援委員会委員の委嘱について

(報告第 22～24 号 学校支援課長から説明)

○教育長

それでは、事務局からの説明に対し、質問、意見はございませんか。

いじめ問題対策連絡協議会は昨年度何回開催されたのでしょうか。

◎事務局

昨年度の開催は 1 回でしたが、例年では 2 回開催しております。

○教育長

教育支援委員会の役割と審議結果について、少し説明してください。

◎事務局

教育支援委員会につきましては、特別な支援が必要な子どもたちに対して、就学先としてどのような学びの場が適しているのかについて、教育、医学、心理学など様々な立場から、また、児童生徒の就学について専門的知識を有する方々の意見を聞きながら、総合的に就学先を審議していく委員会でございます。もちろん審議結果は決定ではなく、学校や保護者にも何度も相談・協議をさせていただきます。その上で、最終的に就学先を決定させていただくのが教育支援委員会の役割となっております。

昨年度の審議結果につきましては、小学校では審議結果と就学先とが必ずしも一致しておりません。中学校では審議結果と就学先とがほぼ一致しているような状況でございます。

○教育長

小学校の場合は特別支援学校が適していると審議結果が出ても、地域の学校に行きたい本人や保護者が見られます。小学校の段階から特別支援学校への通学となると、地元地域において存在が薄れてしまうことを危惧することが理由の一つです。地域とのかかわりを大切にするということは大切ですが、特別支援学校に小学部から行くことによって、早い段階から生きる力を身につけることも必要です。その両方、いい所取りをしたということで、県内で松阪市だけの取組ですが、特別支援学校の子どもたちが居住地校にも籍を置く「副次的な籍」という制度を導入していきます。

どこの市町も学習交流は実施していますが、年に数回です。松阪市では、この「副次的な籍」を生かし、地域の学校に来て地元の子どもたちと一緒に教育活動をする取組を充実していきます。これを先進的に取り組んでいるのが、阿坂小学校と天白小学校です。

他に質問、意見はございませんか。

(委員から「なし」の声)

○教育長

質問等がないようですので、報告第 22 号から第 24 号までを承認したいと思いますすが、いかがでしょうか。

(委員から「異議なし」の声)

○教育長

異議なしと認めます。よって、報告第 22 号から第 24 号までは承認いたしました。

次に、報告第 25 号及び第 26 号につきまして、事務局から説明願います。

25. 松阪市スポーツ推進計画策定委員会委員の委嘱について

◎事務局

感染者の最終登校日から5日間としています。

○教育長

先般、国からマスクの規制緩和に関する文書が出ているので、説明をお願いします。

◎事務局

既にマスコミでも報道されておりますが、先週に厚生労働省からマスク着用に対する考え方が示されました。それを受けて今週になって文部科学省から文書が出てまいりました。一昨日の県教育委員会の通知によりますと、マスク着用に対する基本的な考え方、感染対策の重要性は変更ありません。これからの時期、熱中症対策をしながらのマスク着用になりますので、十分な距離が保てる場合においては着用しなくてもいいと。特に体育の授業中や登下校時には着用しなくてもいいということが明記されております。また、自分自身でマスクを外してよいか判断が難しい児童については、教職員が積極的に声掛けをするなどの指導も必要であるということ、一方で、マスク着用を希望する児童生徒への配慮もしっかり行う必要があることも明記されております。

市教育委員会といたしましては、この通知が出る前でしたが、17日に小学校の校長会がありましたのでその際に、また中学校については25日の校長会にて、マスク着用と熱中症対策について、それぞれ徹底させていただいておりますし、保護者にもしっかりと周知させていただきました。

○教育長

少し補足させていただきます。多くの児童生徒が罹患しておりますが、なかなかその症状や回復後の経過については、その実態が掴めていません。そこで、罹患した児童生徒の後遺症的な部分について、教員が日頃から児童生徒に接して感じていたところを報告するよう指示したところです。例えば集中力がなくなるとか、だるさを感じていそうであるとか、該当児童生徒への直接的な聞き取りではなく、教員が感じたところを記述するものですので、信ぴょう性があるかどうかわかりませんが、また結果が判明したらその概要をご報告させていただきたいと考えております。

もう一点は、社会的検査です。エッセンシャルワーカーの方々と同様、教職員も検査対象となりました。教員はもちろん、給食調理員、ALTや学校生活アシスタントの方々もすべて含めて95~96%の人が検査を受けていただいています。県内でも群を抜いて高い割合となっております。その中で、4月以降、陽性者は無症状の2人のみです。この無症状の2人は、もしかするとそのまま校内で感染を拡大させていたかもしれません。1,000人を超える事業所でわずか2人と考えたら、かなり意識の高い事業所であると言えると思います。

これから暑い時期を迎えるにあたり、熱中症対策に徐々にシフトしていきます。しかし、そこでマスク警察のようになってもいけませんし、マスク着用を希望する子ども、マスクを外すことを選択した子ども、それぞれの想いも大切にしていかなければなりませんので、難しい舵取りにはなるとは思いますが、しっかり対策を講じてまいりたいと思います。

◆委員

小中学生の重症化の報告はあまりありません。また、後遺症に関しては、今のところエビデンスがない状況です。もし今後、小中学生に後遺症などの症状がみられた場合には、報告していただけるとありがたいです。

○教育長

ありがとうございます。

他にございませんか。

◆委員

最近、ある方から小学生の英語嫌いが増えてきて心配しているということをお聞きしました。本当に危惧していることが出てきたんじゃないかと思っています。やはり日本の英語教育は間違っていたという部分から変わり始めたのに、また同じことをしている。その点、ALTは非常に教え方が上手で、楽しく教えようとしている。一方で、日本人は正確に英語を話せるようにというところにばかりつなげてしまう。そこで、市教委として、小学生のうちにはできるできないではなく、英語が楽しいということに重点を置いた姿勢で取り組んでもらいたいと考えます。

それと、教育長は、これまでも様々な施策にスピード感をもって取り組んできておられます。先行して取り組むことは、いい場合もあるけど、試験的に導入するため、子どもたちや教員の負担になってしまうなど大変な場合もあると思います。スピード感を持って取り組むことも必要であると思う反面、そのあたり、ある意味で慎重に取り組むことも必要であると思います。

○教育長

ありがとうございます。

職員をはじめ、関係のみなさんの意見を聞きながら進めていきます。

他にございませんか。

◆委員

マスク依存の子どもが割と居まして、日常的にマスクを外すことができなくなっているんです。給食の時も食べる時だけマスクをずらして食べているようです。ある保護者から相談を受けまして、子どもはプールに入りたいと言っているけど、プールに入るにはマスクを外さないと入れないから悩んでいると。マスクを外せないことでプールの授業が見学となり、体育の成績に影響が出るんじゃないかと心配されておられました。プールに入るときにはマスクを外すように、ちゃんと学校からのプリントにも書かれています。これまで子どもたちはマスクが少しずれただけでもちゃんと着用しなさいと指導を受けてきてたんです。それが急にマスクを外してもいいですよ、マスクを外しなさいと言われて、困っているようです。マスクを外せなくて苦しんでいる子がいるという現実もわかっておいていただきたいです。

それと、もう3年間まともに学校行事ができていません。今年ようやく制限のないゴールデンウィークを迎えて、制限のない運動会や社会見学に期待していた部分もあったと思いますが、運動会縮小、社会見学なしということで、いったいいつになればという気持ちが出てきているようです。少しずつでも戻していただかないといけないと思っています。小学校1~3年生の保護者の方々は一度も学校行事をまともに経験できていない状態です。PTA活動については、引継ぎもうまくできず、次第に把握している人が居なくなり、活動自体が非常に難しくなっている現実があります。

このウイルスと共存するしかないのであれば、私たちもワンステップ進んで、学校行事を実施できる方向で考えていかなければならない時期に来ているのかなと思います。教育委員会も学校もお力添えを切実にお願いしたいところです。

◆委員

社会見学はバスで行動する部分が難しくなっているのでしょうかね。

◎事務局

学校行事については、4月当初からできる限り平常通りに戻そうと校長会でも協議しているところです。

プールについて、昨年度は教育委員会から小学校に中止の通知を发出させていただきましたが、今年度はこのような感染症対策を取りながら実施しようという内容の通知をさせていただきました。プール授業の実施は各校において決定されますが、現時点でほとんどの学校が実施する方向で報告を受けております。地区水泳についてはこれからPTAと協議していくことになっています。

運動会や体育祭については、学校規模に応じて、学年別で開催したり、地域の種目を割愛したり、各校で工夫しながら開催しているような状況です。

教育委員会としても、学校行事を平常どおりに戻していこうという姿勢で取組を進めておりますので、ご理解を賜りますようお願いいたします。

あと、マスクを外せない児童生徒の保護者から相談を受けることがございますので、マスクを外した児童生徒、マスク着用を希望する児童生徒への配慮もしっかり行う必要があることを通知させていただいておりますので、ご理解を賜りますようお願いいたします。

○教育長

現在でも毎日平均4人の児童生徒が罹患しています。以前なら大騒ぎしている状況ですし、学校は危機感をもってしっかり対策してもらいたい。しかし、夏に向けては熱中症対策も併せて対応していかなければならない。マスクを外しても大丈夫な場面では外していいんだよって啓発できるようなポスターや資料などを学校に示せるよう検討してみてください。

◆委員

高校は普通に昼ご飯を食べられる状態に戻っていますが、小中学校は黙食を継続しています。保護者によってはその違いに戸惑っている部分もあるようです。

○教育長

各学校には、児童生徒や保護者から頂戴するマスク着用についての様々なお意見をしっかり受け止めて対応を進めるよう周知します。顕著な事案がありましたらご報告させていただきます。

ありがとうございます。

他にございませんか。

先日、市長が東京でパネルディスカッションされた内容について報告してください。

◎事務局

5月11日に東京ビッグサイトにおいて教育総合展 EDIX 東京が開催され、専修大学の方が進行役のもと、千葉県流山市、神奈川県川崎市、松阪市の3人の市長が登壇され、GIGAスクール構想の先進的な取組について10～15分間ずつご紹介をしていただきました。松阪市長の思いとして「経済格差が教育格差に繋がってはならない」という信念のもと、過疎化が進む飯南飯高地域の活性化に飯南高校を中心にして取り組んでいきたいということ、また、これが松阪市が招かれた理由だと思っておりますが、松阪市では10年以上前からフューチャースクール事業として三雲中学校にて先進的に取り組んできております。タブレットの年度更新といいますが、卒業生から新入生にタブレットの引継ぎ作業をする際には、どの自治体も相当日数を要するのですが、松阪市はこれまでの経験から迅速な引継ぎ作業が可能で、入学早々に新入生に貸与できているという事例を、来場者の方々にご紹介をさせていただいたものでございます。

その後、会場を変えて、市長と教育長がアップルアメリカ本社の教育部門の方と懇談させていただくなど、非常にありがたい一日でございました。

○教育長

松阪市の場合は、ポートフォリオ（児童生徒の活動記録）のように子どもの学びを蓄積していき、その蓄積した情報から自分の進路を決めるのに役立てていく仕組みを今後構築したいとお話ししたところ、アップルの方に高く評価していただきました。

また、タブレットの更新作業の時期ですが、新入生に早々に貸与するのは当たり前のことだと思っていたら、実はそうでもないようです。他の自治体は数百万円かけて業者に委託しても1か月くらいかかってしまうようです。それを松阪市はこれまでの経験を活かし迅速に更新できるようシステム化をし、短期間でしかも自前で完了しています。この仕組みは全国からも高い評価を受けており、文部科学省から子ども支援研究センターの職員のところにお問い合わせが来るほどです。松阪市は学校が休業になっても普通にオンライン授業ができています。普段も持ち帰り学習ができています。実はこれも当たり前ではなかったんです。

GIGA スクール、不登校対策、特別支援教育など松阪市の教育行政のメイン業務ばかり担当してもらっている子ども支援研究センターです。よろしくをお願いします。

ありがとうございます。

他にございませんか。

（委員から「なし」の声）

○教育長

それでは、最後に事務局から次回の定例会の日程報告をお願いいたします。

◎事務局

次回の教育委員会定例会でございますが、

6月15日水曜日、午後1時30分から教育委員会室で開催いたしますのでよろしくお願いいたします。

○教育長

それでは、これをもちまして、令和4年5月第7回松阪市教育委員会定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

午後2時48分 閉会